

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 米国優良株式ファンド（毎月決算型）」は、このたび、第11期の決算を行いました。

当ファンドは米国の企業が発行する株式を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



交付運用報告書

第6期（決算日2016年11月22日）

第7期（決算日2016年12月22日）

第8期（決算日2017年1月23日）

第9期（決算日2017年2月22日）

第10期（決算日2017年3月22日）

第11期（決算日2017年4月24日）

作成対象期間（2016年10月25日～2017年4月24日）

第11期末（2017年4月24日）	
基準価額	11,076円
純資産総額	44百万円
第6期～第11期	
騰落率	12.8%
分配金（税込み）合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記＜お問い合わせ先＞のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

＜お問い合わせ先＞

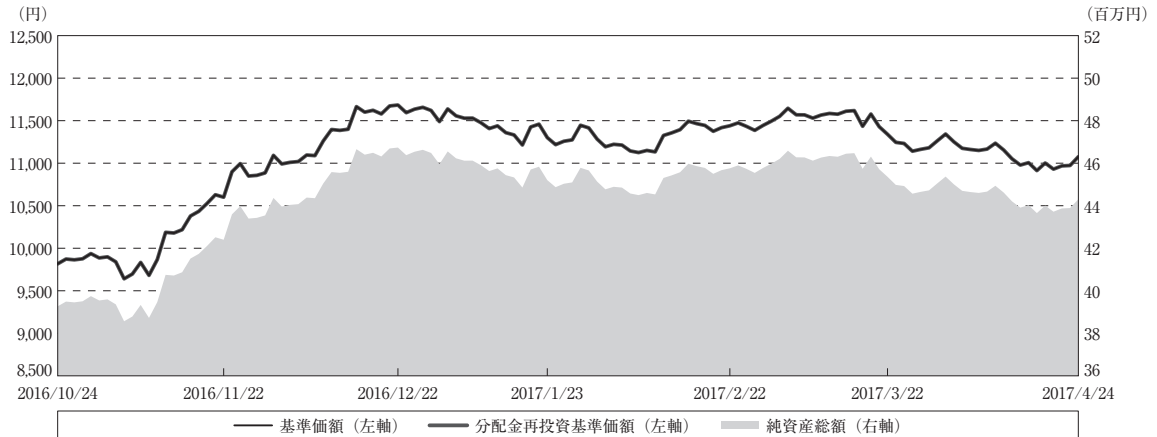
お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.com.jp/>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2016年10月25日～2017年4月24日)



第6期首：9,817円

第11期末：11,076円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：12.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年10月24日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・米国の企業が発行する株式を実質的な主要投資対象としているため、米国株式市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・株価の割安度、高い配当成長、財務の健全性などに着目した銘柄選択を行った結果、良好な決算や増配などにより保有銘柄の株価がおおむね堅調に推移したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、トランプ政権による政策への期待が高まったことなどを背景に円安/米ドル高が進行したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・2017年3月以降、トランプ政権が掲げた医療保険制度改革法の代替法案が撤回されたことにより、同政権の政策実行力に対する懸念が広がり株価が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・保有していた一部の銘柄の株価が業績悪化懸念などを背景に下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2016年10月25日～2017年4月24日)

項 目	第6期～第11期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 46 (3) (42) (2)	% 0.420 (0.027) (0.377) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	6 (4) (2) (0)	0.054 (0.038) (0.016) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等 その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	52	0.474	
作成期間の平均基準価額は、11,055円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2012年4月23日～2017年4月24日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2016年6月3日です。

	2016年6月3日 設定日	2017年4月24日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,076
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.8
Russell 1000 Value Index Total Return (円換算ベース) 騰落率 (%)	—	14.3
純資産総額 (百万円)	40	44

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 参考指数は、Russell 1000 Value Index Total Return (円換算ベース) です。参考指数の詳細は13ページをご参照ください。
- (注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

（2016年10月25日～2017年4月24日）

S & P 500指数（米国） +10.4%

1米ドル=109円96銭（前作成期末103円88銭）

※株価指数の騰落率は当作成期末時点（対前作成期末比）、米ドル/円は当作成期末の数値です。

《株式市場》

当作成期の米国株式市場は上昇しました。2016年11月前半は米国大統領選挙でトランプ氏の勝利が確定したことで一時市場に動揺が見られましたが、その後は同氏による財政拡張政策や金融規制緩和などに対する期待が高まり、年末にかけて株価は上昇基調で推移しました。2017年に入ると、米新政権の政策に対する期待が続いたことに加え、堅調な企業決算や良好な経済指標に支えられ、2月末にかけて株価は上げ幅を拡大しました。しかしその後は、医療保険制度改革法の代替法案が議会の抵抗を受けて撤回されたことにより、トランプ政権の政策実行力に対する懸念が広がったため、上値が重く推移したまま作成期末を迎えました。

《為替市場》

当作成期の日本円は対米ドルで下落しました。①米国大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策への期待感、②2016年12月に米連邦準備理事会（FRB）が利上げを決定し、同時に2017年の利上げペースを従来の2回から3回に変更したことなどから、作成期初より2016年12月末にかけて円安/米ドル高が進行しました。しかしその後は、英国の欧州連合（EU）離脱（ブレグジット）やフランス大統領選挙に対する懸念などを背景に安全資産としての円が買われ、米ドルは作成期末にかけて対円での上昇幅を削る展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2016年10月25日～2017年4月24日）

インベスコ 米国優良株式 マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）を高位に組み入れ、主として米国の企業が発行する株式に実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドといいます。）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジは行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ USエクイティ・ファンド クラスC-QD投資信託証券（米ドル建て）に投資を行いました。同外国投資信託では、主として米国の企業が発行する株式に投資を行い、株価の割安度、高い配当成長、財務の健全性などに着目した銘柄選択を行いました。具体的には、キャッシュフロー創出力が高く、今後も持続的な株主還元が期待できると判断したGeneral MillsやPPLなどを購入した一方、金利上昇により収益が改善するとの期待が高まり株価が上昇したZions BancorporationやCharles Schwabなどを売却しました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年10月25日～2017年4月24日）

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は+12.8%となり、参考指数であるRussell 1000 Value Index Total Return（円換算ベース）の騰落率+16.9%を下回る結果となりました。

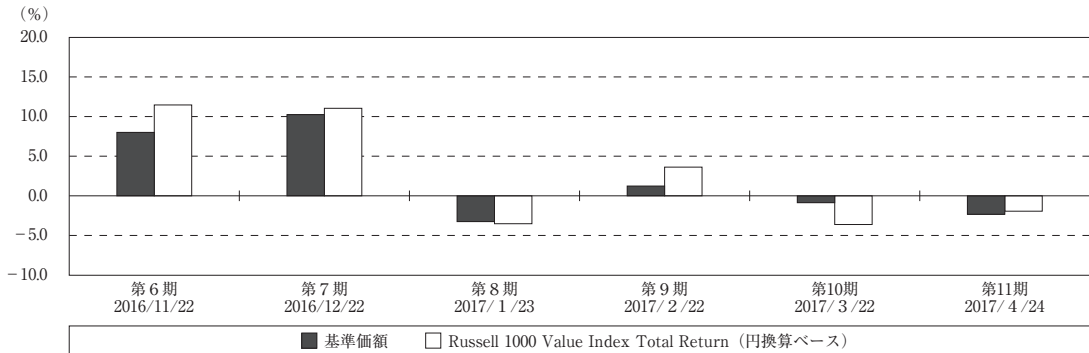
[プラス要因]

・Exxon Mobil（エネルギー）を非保有としていたこと、M&T Bank（金融）、Zions Bancorporation（金融）を参考指数以上の組み入れとしていたことがプラスに寄与しました。

[マイナス要因]

・Bank of America（金融）やJPMorgan Chase（金融）を非保有としていたこと、General Mills（生活必需品）を参考指数以上の組み入れとしていたことがマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 参考指数は、Russell 1000 Value Index Total Return（円換算ベース）です。参考指数の詳細は13ページをご参照ください。

分配金

（2016年10月25日～2017年4月24日）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当作成期間は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	2016年10月25日 ～2016年11月22日	2016年11月23日 ～2016年12月22日	2016年12月23日 ～2017年1月23日	2017年1月24日 ～2017年2月22日	2017年2月23日 ～2017年3月22日	2017年3月23日 ～2017年4月24日
当期分配金	—	—	—	—	—	—
（対基準価額比率）	—%	—%	—%	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,587	7,602	7,602	7,602	7,602	7,602

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、主として米国の企業が発行する株式に実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ USエクイティ・ファンド クラス C-QD投資信託証券（米ドル建て）に投資を行います。同外国投資信託では、主として米国の企業が発行する株式に投資を行い、株価の割安度、高い配当成長、財務の健全性などに着目した銘柄選択を行います。具体的には、健全な財務基盤を有し安定したキャッシュフローの創出が見込まれる企業で、中長期的な業績見通しに比べバリュエーションが割安と判断した企業や、株主還元を強化する動きが見られる企業などの組み入れを高位に維持する方針です。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

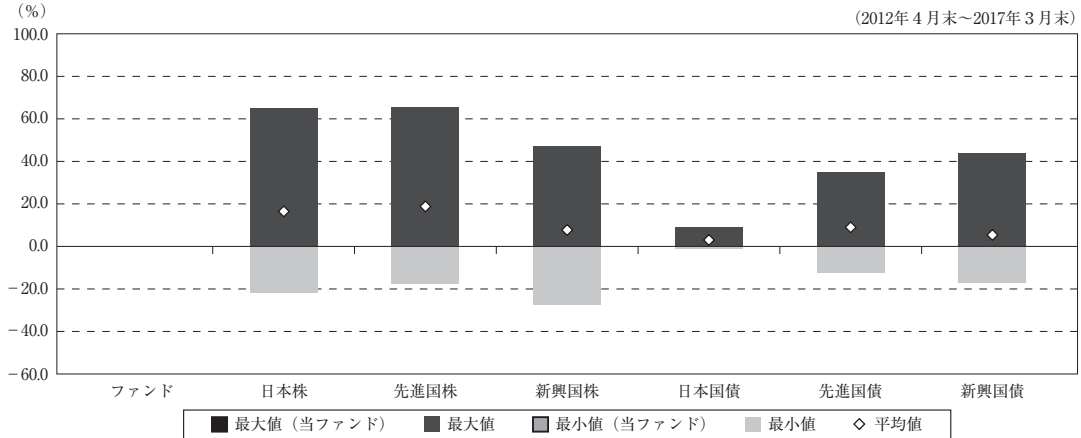
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2026年4月22日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米国の企業が発行する株式に実質的に投資することにより、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 米国優良株式ファンド (毎月決算型)	「インベスコ 米国優良株式 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」を主要投資対象とします。
	インベスコ 米国優良株式 マザーファンド	別に定める投資信託証券 [*] へ投資し、主として、米国の企業が発行する株式に実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ US エクイティ・ファンド クラスC-QD投資信託証券（米ドル建て）です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として米国の企業が発行する株式に実質的に投資します。 ・運用にあたっては、株価の割安度、高い配当成長、財務の健全性などに着目した銘柄選択を行います。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円で為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時（毎月22日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	—	16.5	18.8	7.7	3.0	8.9	5.4
最大値	—	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	—	-22.0	-17.5	-27.4	-1.3	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年4月から2017年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。なお、当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年4月24日現在)

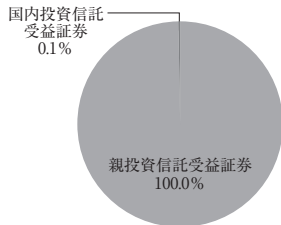
○組入上位ファンド

銘柄名	第11期末
インベスコ 米国優良株式 マザーファンド	100.0%
インベスコ マネーブール・ファンド（適格機関投資家私募投信）	0.1%
組入銘柄数	2銘柄

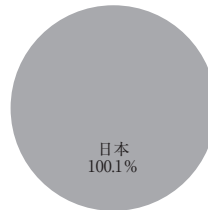
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

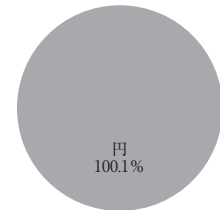
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

純資産等

項目	第6期末	第7期末	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末
	2016年11月22日	2016年12月22日	2017年1月23日	2017年2月22日	2017年3月22日	2017年4月24日
純資産総額	42,399,618円	46,735,711円	45,203,032円	45,759,363円	45,360,709円	44,303,494円
受益権総口数	40,000,000口	40,000,000口	40,000,000口	40,000,000口	40,000,000口	40,000,000口
1万円当たり基準価額	10,600円	11,684円	11,301円	11,440円	11,340円	11,076円

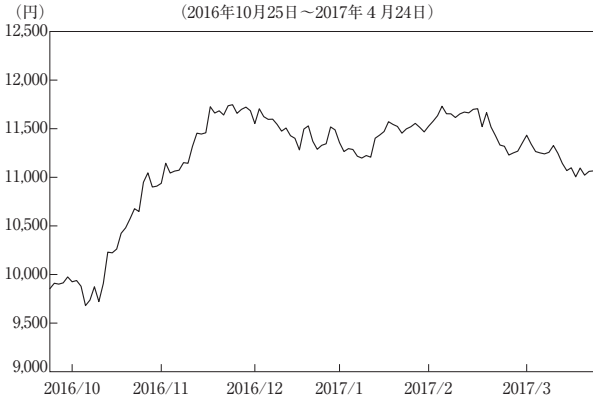
* 作成期間（第6期～第11期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 米国優良株式 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2016年10月25日～2017年4月24日)



【1万口当たりの費用明細】

(2016年10月25日～2017年4月24日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他の費用(その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、11,122円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

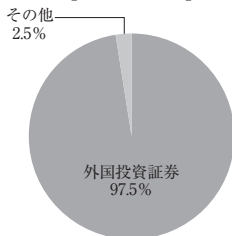
【組入上位ファンド】

(2017年4月24日現在)

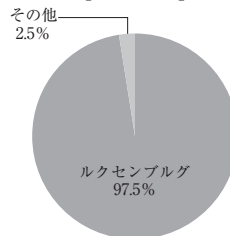
銘柄名	第2期末
インベスコ USエクイティ・ファンド クラスC-QD	% 97.5
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

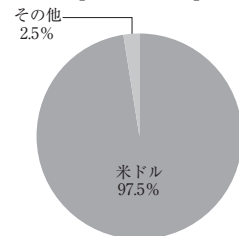
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。
 (注) その他には現金等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

（参考情報） ルクセンブルグ籍外国投資法人
インベスコ USエクイティ・ファンド

「インベスコ 米国優良株式 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ USエクイティ・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

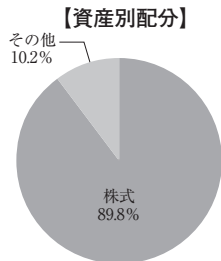
【組入上位10銘柄】

（2016年2月29日現在）

	銘柄名	種別	比率
			%
1	General Mills Inc	株式	3.6
2	Coca-Cola Co	株式	3.4
3	AT&T Inc	株式	3.1
4	Campbell Soup Co	株式	2.9
5	PPL Corp	株式	2.8
6	Exelon Corp	株式	2.7
7	KeyCorp	株式	2.1
8	Heineken NV	株式	2.1
9	Kraft Heinz Co	株式	1.9
10	Philip Morris International Inc	株式	1.8
	組入銘柄数		72銘柄

（注）比率は、純資産に対する割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。



【国別配分】

必要な情報が開示されていません。

【通貨別配分】

必要な情報が開示されていません。

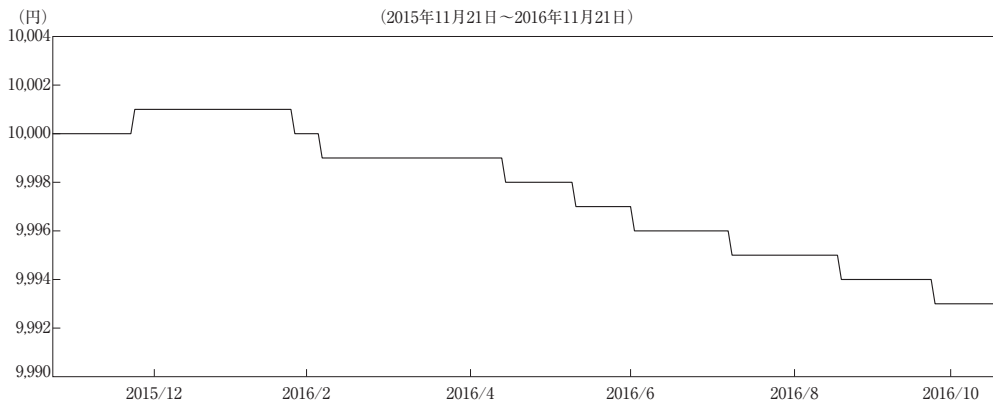
（注）比率は、純資産に対する割合です。

（注）その他には現金等を含む場合があります。

インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

【基準価額の推移】

(2015年11月21日～2016年11月21日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年11月21日～2016年11月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	0円 (0) (0) (0)	0.000% (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	1 (1)	0.009 (0.009)	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	1	0.009	
期中の平均基準価額は、9,997円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2016年11月21日現在)

2016年11月21日現在、有価証券等の組み入れはございません。

＜当ファンドの参考指数について＞

当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてRussell 1000 Value Index Total Return（円換算ベース）を掲載しています。当該参考指数は、基準日前営業日のRussell 1000 Value Index Total Return（米ドルベース）に基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場仲値）を乗じ、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2017, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.